

神根中だより

～聴き合い、学び合える居心地の良い学校～

2024年5月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かでたくましい生徒



川口市立神根中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

日本国憲法が一番言いたいことって何？

校長 松村 一人

5月3日は、憲法記念日です。昨年度の5月号で日本国憲法の構成について書きました。簡単に言うと、日本国憲法は「約10章、約100条」から成り立っているといえます。

日本国憲法は特に〈国民主権〉〈平和主義〉〈基本的人権の尊重〉を柱にしていると言われています。これを憲法の三大原則、三大原理といいます。

【問題】 それでは、日本国憲法の第1章第1条には、どんなことが書かれていると思いますか。

- ア. 国民主権のこと。
- イ. 平和主義のこと。
- ウ. 基本的人権の尊重のこと。
- エ. 天皇のこと。
- オ. 内閣のこと。
- カ. その他（ ）

【問題の答】

日本国憲法第1章の題名は「天皇」となっていますから、まずエは正解です。さらに内容を読んでみると、こう書かれています。

第1章 天皇

第1条 天皇は、日本国の象徴であり日本国民統合の象徴であつて、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く。

最後の「主権の存する日本国民」というところが、〈国民主権〉にあたります。ですから、アも正解です。

第1章第1条は「天皇の地位」と「国民主権」の両方を表しているのです。なお、「国民主権」を記す文章は、条文としてはこれだけですが、前文の中にも「国民主権」が出てきます。（第1章は第1条から第8条まであります。）

さて、日本国憲法の前の憲法は「大日本帝国憲法」といい、第1章第1条は「大日本帝国ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」とあり、天皇に主権がありました。これを日本国憲法では、「主権は国民にあり、天皇は日本国の象徴とする」というように大きく変えたので、まずはこのことを第1章に書かなくてはならなかったのではないかと考えられます。

そしていよいよ第2章。この第2章こそ、日本国民が総意として一番言いたいことが書いてあるのではないかと思います。戦争に負ける寸前、東京等の大都市が空襲を受け、広島や長崎に原爆が落ち、本当に焼け野原になりました。敗戦直後にできた日本国憲法。そこで誰しもが熱望した「平和」。この〈平和主義〉＝〈戦争放棄〉を日本国憲法の第1章の次の第2章第9条として記したのではないのでしょうか？（第2章は9条のみ。）

残念ながら私たちはまだ、戦争のない世界を創り出せていません。